

# 春

春の星座



## 子ども歳時記

日本には、季節にちなんで行われる行事や風習が数多くあります。それぞれに理由や目的があり、人々の願いが込められています。



# 6月

虫歯予防の日 (6月10日)

冷たく冴え渡っていた大気も日増しに和らいで、春の夜空には霞んで柔らかみを帯びた星の輝きが見えます。北の空に昇った北斗七星のひしゃくの柄を南に延長すると、うしかい座の橙色一等星アルクトゥルスを経て、おとめ座の白色一等星スピカに至る弧を頭上に描けます。これが「春の大曲線」です。このカーブのうちスピカとアルクトゥルス、しし座の尾の星デネボラを結ぶと「春の大三角形」ができます。最後に、JAXA や山梨県立科学館などが取り組んできた、宇宙や生命への想いを言葉で紡ぐ「宇宙連詩」というプロジェクトを紹介します。(宇宙連詩1梨版「星つむぎの歌」<http://www.sannichico.jp/space-poem/>)

どうして虫歯ができるのでしょうか。虫歯は虫歯菌(ミュータンス菌)と呼ばれる細菌によって引き起こされます。虫歯菌は、菌内で砂糖を分解して乳酸に換え、菌外に排出します。この乳酸が歯の表面のエナメル質を溶かして虫歯を形成します。歯の形、歯並び、さらに歯が作られる時期の栄養状態や疾病状況によって、虫歯に強い歯・弱い歯が決まります。正しく歯磨きをして歯を守りましょう。汚れがたまりやすいところは重点的に磨きます。ただし、自分の歯に合った方法でゆっくり丁寧に磨く必要があるため、かかりつけの歯科を見つけ、虫歯になる前、数ヶ月ごとに定期的に通い、歯石取りやブラッシング指導を受けましょう。

住環境コーディネーター  
引地



## 子育て親育ちエッセンス

サークル「やんちゃんこ」  
代表 濱田 英世

過ごしやすい季節となりました。保育所・幼稚園や小学校などの新しいステップに進んで頑張っている子どもたちも、少しホッとする頃かもしれません。でも、ゴールデンウィークを過ぎる頃から5月病などと言われて、反対に「行きたくない・・・」と、お母さんを困らせてしまうことが起きたりするのも、この頃であったりします。今回はこんな「新生活のとまどい」についてお話しします。

「あんなに喜んで通っていたのに、急に行きたくないと泣き出してしまったのです。このような時にどのような対処をしたらよいのでしょうか」と、相談を受けることがあります。

一体何があったのだらかと心配になるのも当たり前です。原因が何なのか気にもなります。もちろん、園や学校で何か困っていることがあるのなら、先生と相談して、それをうまく取り除いてあげなければなりません。

どのような場合でも、まず気をつけなければならないことは、すぐに問い詰めてしまわないということです。「何があったの?」「お友だちに何か意地悪されたの?」「どうしてか言いなさい!」心配が故に、大人はついこういう聞き方をしてしまいます。しかし、このような聞き方は本当に心配しているからではなく、ただ答えが早く欲しいからだけのものに過ぎません。

どうでしょう?逆に自分がこのように問われたとしたら・・・素直に心を開くことがどれだけできるでしょうか?なんだか反対に自分が悪いことをしているように感じたりしないでしょうか?

答えをすぐに求めるのではなく、まずはじっくりと子どもの様子を見て、話をしっかりと聞いて、そして子どもの心に寄り

添うことをしてください。小さな身体で、子どもたちは精一杯頑張っているのです。まだまだお母さんの膝の中にいたいし、甘えていたい、そんな思いを持ちながらも一人で園や学校に行きたくて頑張っているのです。その子どもの気持ちというものを、ちょっと視点を変えて受け止めてあげると、自然と答えは見えてくることでしょう。

子どもにいろいろな期待を寄せるのは、親として当然の思いですが、その期待が子どもにとって負担なものになってしまうのは困ります。のびのびと育て、自信を持たせ、やる気が発揮できるよう、見守り、支えることのできる親になりたいものです。

そのためにも、まずは私たち大人が焦らず・・・ゆとりの心を持たなければならないのかもしれませんがね。まさしく子どもと共に育つ(教育=共育)ということです。

どうかこれからの季節、子どもたちと一緒に、うんと楽しい時間をお過ごしください!!



**わいわいステーション (利用料: 無料)** サークル「やんちゃんこ」  
場 所: 南塚口町 2-4-23 アラカサビル 4階 も同じビルでの活動です

(阪急塚口駅より東へ徒歩1分)

開 室: 火~土 10:00~16:00

TEL・FAX: 06-6421-8841

<http://www1.ocn.ne.jp/~children/index.html>

